

令和6年度

資料1

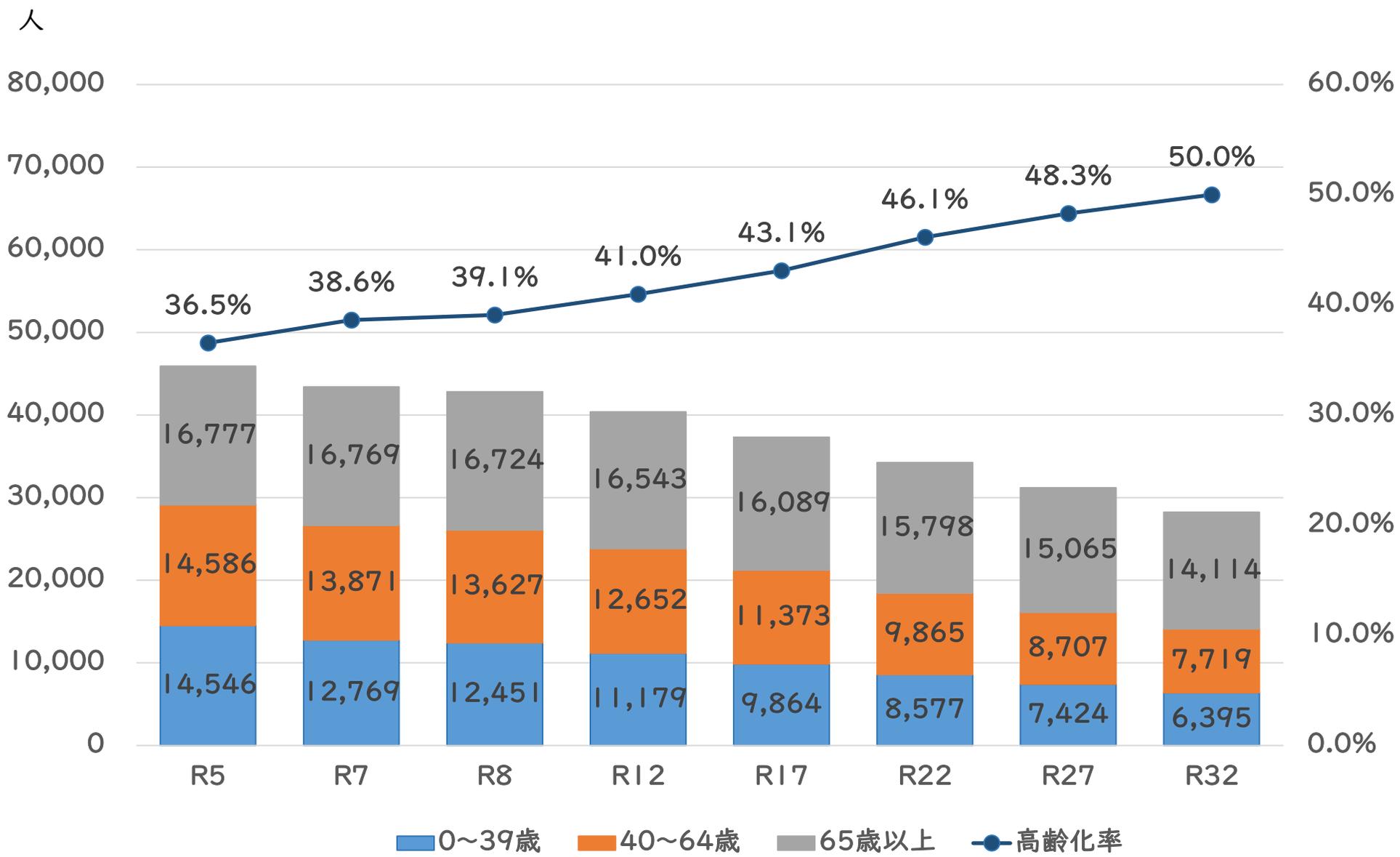
第2回

地域包括支援センター運営協議会



令和7年1月30日(木)

高島市の人口推計



【出典】実績値：住民基本台帳

推計値：社人研推計

要支援者数（市内全域 令和6年11月末現在）

		要支援1	要支援2	計
第1号被保険者		692	439	1,131
(内訳)	65歳以上75歳未満	62	40	102
	75歳以上	630	399	1,029
第2号被保険者		6	2	8
総数		698	441	1,193

*第1号被保険者:65歳以上の被保険者

*第2号被保険者:40歳以上~65歳未満の被保険者

地域包括支援センターの設置状況

令和6年11月末現在

地域	朽木	新旭	マキノ	今津	高島	安曇川	高島市全体
人口	1,435	10,580	5,042	10,258	5,639	12,256	45,260
世帯数	739	4,730	2,454	4,878	2,499	5,666	20,966
65歳以上人口	711	3,348	2,226	3,980	2,201	4,369	16,745
高齢化率(%)	49.5	31.6	44.3	38.7	39.0	35.6	37.0
地域包括支援センター	高島市地域包括支援センター(基幹型)		あいりんつむぎ地域包括支援センター		高島・安曇川地域包括支援センター		
受託法人			近江愛隣園		(特非)高島地域包括ケア研究会		
所在地	高島市役所 高齢者支援課内		高島市今津町 南新保87-1		高島市勝野 3060番地3		

令和6年度

高島市地域包括支援センター

重点事業 中間報告



令和6年度実績
11月末現在で集計

①相談支援体制の充実



令和2年10月開所
あいりんつむぎ
地域包括支援センター



令和6年4月開所
高島・安曇川
地域包括支援センター

基幹型
地域包括支援センター

②認知症対策

【チームオレンジの設置】

認知症の人や家族の悩み、身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組み。



③介護予防事業



*フレイル対策と介護予防の取り組みを積極的に推進して「元気な高齢者」を増やす。

*楽しみや生きがいを持ち、自立した生活を送るために「いつまでも自分の足で歩く」ことが必要であり、リハビリテーション専門職と協働して運動器の機能向上を目指す。

*地域における高齢者の活動拠点と、住民主体の取り組みを実践できる人材を育成する。

1) 介護予防把握事業

①医療機関・健診未受診者訪問

医療機関・健診未受診の75歳以上の方の訪問を基幹型包括支援センターで実施。

	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
基幹型地域包括支援センター	17人	21人	55人

②未利用者訪問

要支援の認定があるが、サービス未利用の方の訪問を実施。その後、必要な方は介護保険サービス等を導入。

	令和5年度	令和6年 11月末
基幹型地域包括支援センター	66人	12人
あいりんつむぎ地域包括支援センター	21人	23人
高島・安曇川地域包括支援センター		28人

2) 介護予防普及啓発事業

①運動機能向上教室・生活機能向上教室

運動機能や生活動作の向上を目的に委託して実施している。 * () 内令和5年度

	運動機能向上教室		生活機能向上教室
名称	デイクラブさくら 土曜クラブさくら	あいりん運動教室	生活教室さくら (令和6年10月~)
委託先	医療法人かおり会	近江愛隣園 今津病院	医療法人かおり会
週当たりの定員	130人	30人	10人
参加者数	3,521 (4,319人)	562人 (824人)	令和7年1月から 3人利用予定



②オンライン体操教室

令和5年度からの新規事業

期間	令和7年1月～3月
内容	<ul style="list-style-type: none">・事前説明会：ZOOMのダウンロードと操作説明・前後の体力測定（デジタル測定：Moffバンド）・週2回、全12回のオンライン自宅トレーニング
委託先	アトラス情報サービス株式会社、株式会社Moff
参加者	31名+ α （トレーニングのみ参加） <ul style="list-style-type: none">・男性1名、女性30名・60代（4名）70代（21名）80代（4名）90代（1名）



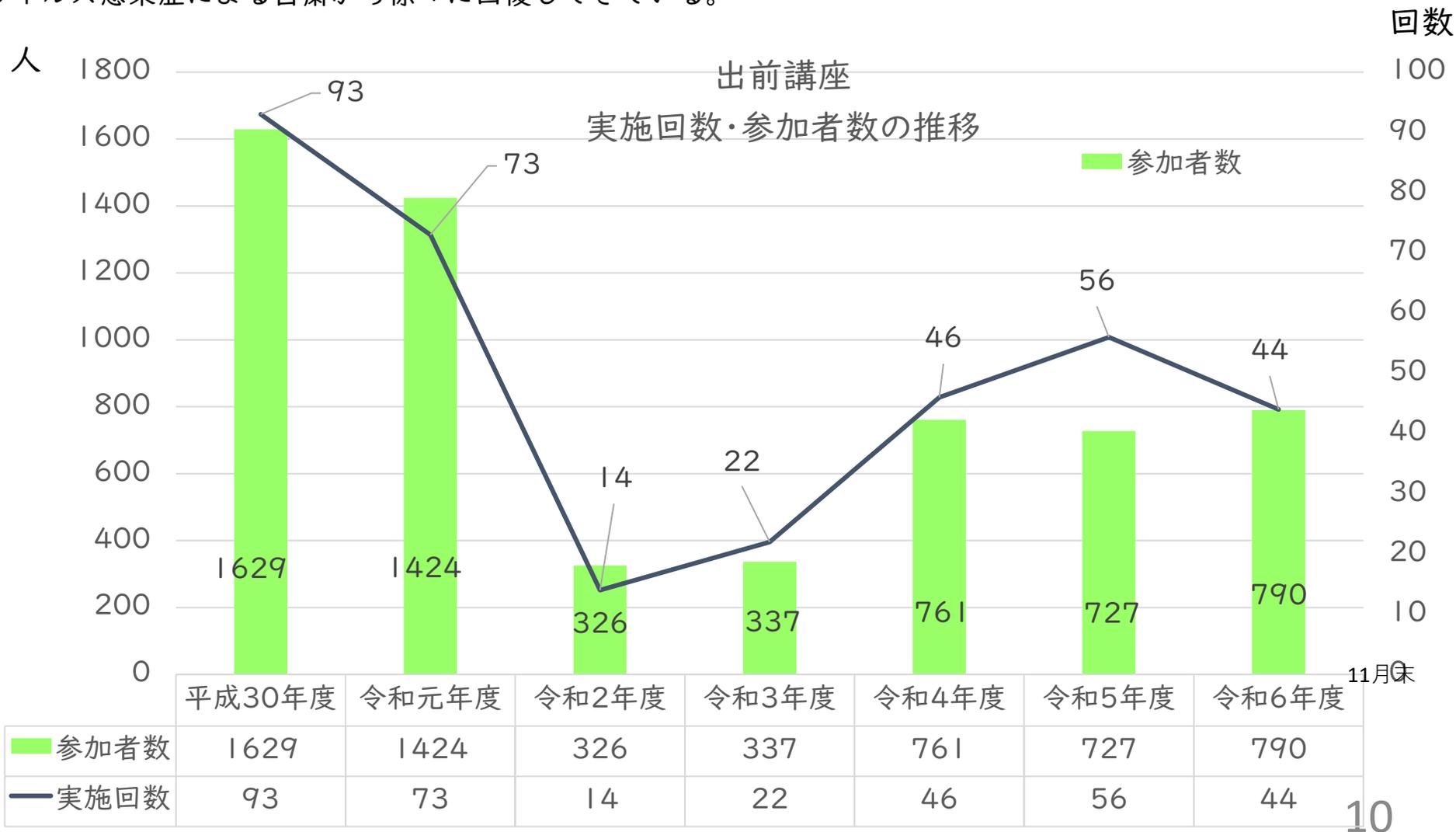
1/15(水)体力測定会を実施しました。



1/16(木)から開始
集会所で集まって受講しておられる地域もあります。

③出前講座

地区や老人クラブ等からの依頼により介護予防についての啓発と地域活動を支援を実施。令和2年度の新型コロナウイルス感染症による自粛から徐々に回復してきている。



3) 地域介護予防活動支援事業

① 「高島あしたの体操」体験会

健康レベルに関わらず、歩いて行くことが出来る地域の集会所など介護予防に取り組めるよう「あしたの体操」体験会（3回）を開催し、継続して住民が主体的に活動できるようDVDの貸与を実施。

	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
実施団体数	2	1	0

② 「高島あしたの体操」動画再生回数（累積）

	令和5年度	令和6年 11月末
高島あしたの体操	719回	809回
ダイジェスト版	1098回	1157回



③ 「高島あしたの体操活動状況調査 調査期間：令和6年8月1日～8月22日

	継続	休止	終了	合計
団体数	38	18	7	63

④高島市通いの場支援事業補助金交付

高島市の「通いの場」の充実を図ることを目的として、地域住民によって自主運営される「通いの場」の運営費用に対する助成を行った。



団体名	人数
高島あしたの体操サークル	15
シニアヨガ教室	9
高島市囲碁同好会	25
高島陶芸クラブ	14
男のまかないクラブ	12
歌声喫茶「うたごえ浜かぜ」	80
どれみふぁプリンス	12
いまづ自然観察クラブ	23
お休み処 まちあかり	30
寄り合い処 くつつき	13



自分の興味のあることや得意な事で活動することが、介護予防につながっています。





令和6年 11月末現在

8団体が追加

合計18団体 参加人数は325人となりました

団体名	人数
体操教室スマイル	10
高島配食ボランティアグループ	22
安曇川・男の料理クラブ	12
卓球同好会マーガレット	7

団体名	人数
山上会	15
パソコンクラブ亀楽会	13
マキノG.G.和気あいあい	10
より処カフェ	13

⑤出前講座

高島通いの場支援事業補助金交付18団体に、出前講座を実施し継続的な活動を支援しています。令和6年度11月末までに12団体に「フレイル予防」をテーマに出前講座を実施しました。

「高島市通いの場支援事業補助金」
交付団体の皆さまへの出前講座
体操教室スマイル
2024年11月18日(月)

【補助金について】
社会参加の促進や見守り機能の役割を果たす市内の「通いの場」の活性化と安定的な運営を図るため、介護予防を目的に実施している「通い」



「フレイル」予防の3つの柱

①食事・栄養

番外編

「お口」のフレイル=「オーラルフレイル」
食べる機能を保つ「お口の健康」も大事!

- ①食後と寝る前には歯みがきをしましょう
- ②1日3食しっかり噛んで食べましょう
- ③お口のトレーニングを日課にしましょう



「フレイル」予防の3つの柱

③社会参加

「社会参加」とは、「外に出て人と話すこと」

- 閉じこもり生活にならない
- 認知症を防ぐために
- 「通いの場」に参加する



- 生きがい
- 健康増進
- 歩く機会
- 仲間づくり
- 楽しみ
- 認知症予防
- 地域交流

4) 地域リハビリテーション活動支援事業

① 集団支援

「高島あしたの体操」等の介護予防活動を行っている団体に対してリハビリテーション専門職によるフォローアップ指導を実施。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
回数	8回	10回	15回	9回
参加人数	75人	121人	164人	77人

専門職の介入が、地域の活動を継続するための後方支援になっています。



② 個別支援

介護支援専門員、保健師等からの依頼により、リハビリテーション専門職が対象者の自宅や施設へ出向き指導や助言を実施。

【依頼件数】 19件（居宅介護支援事業所13件・施設6件）

5) 一般介護予防評価事業 評価会議を開催(予定)

【日時】 令和7年3月14日(金)

【出席者】 医師・理学療法士・運動機能向上教室担当者・生活支援コーディネーター・市民・高島健康福祉事務所・委託地域包括支援センター・健康推進課・高齢者支援課

- 【内容】
- ① 高島市の現状と課題について
 - ② 令和6年度介護予防事業の結果および評価
 - ③ 令和7年度の方向性と取り組みについて

相談体制の充実

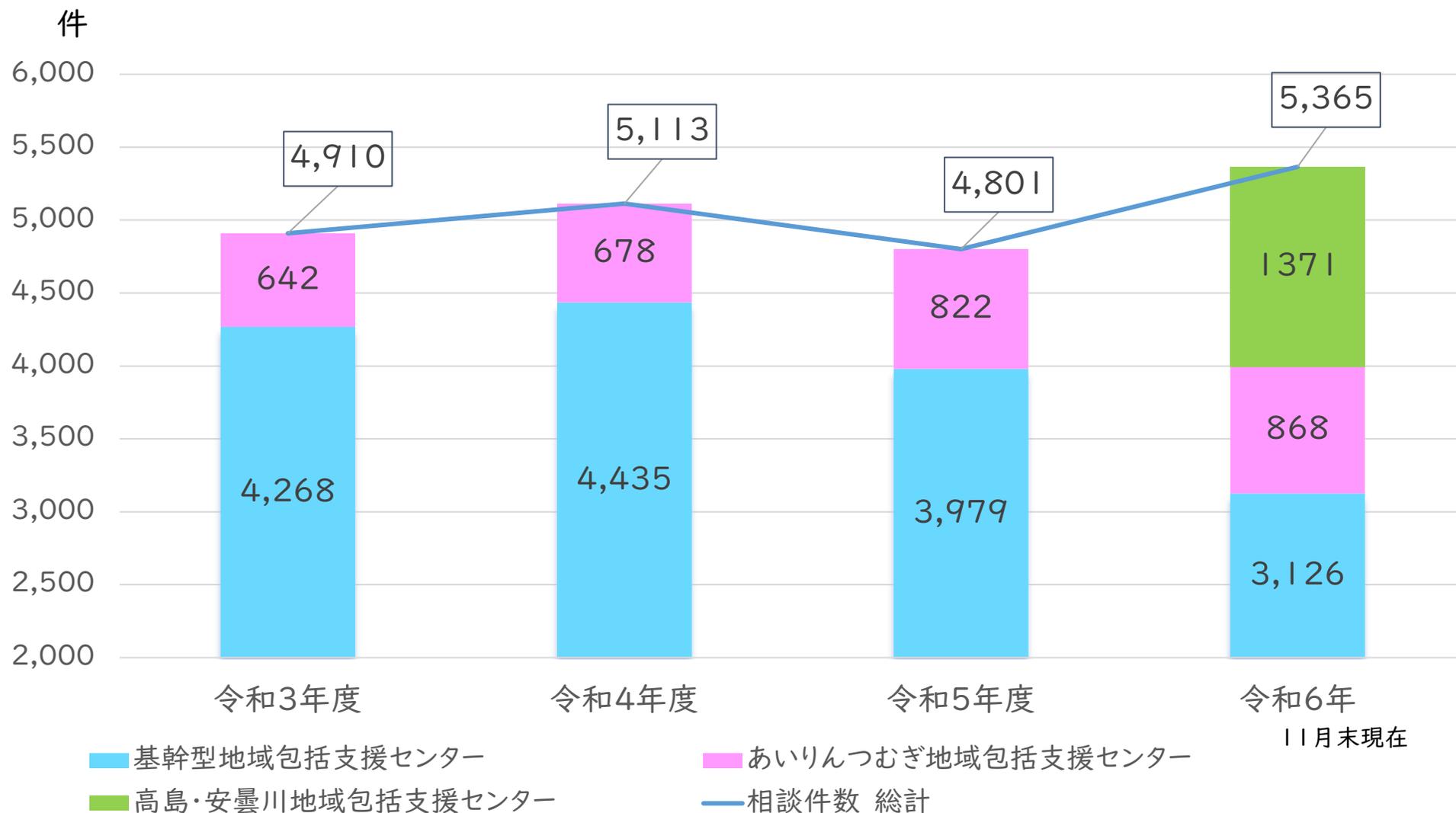
1) 総合相談支援事業

相談については課題を整理し、地域のサービス・介護保険制度の利用支援及び関係機関との連携を図っている。また、緊急性の高いケースについては早急な対応に努め、身寄りのない認知症高齢者、複合多問題を抱える家族などについて、各機関との密な連携、情報共有を実施している。

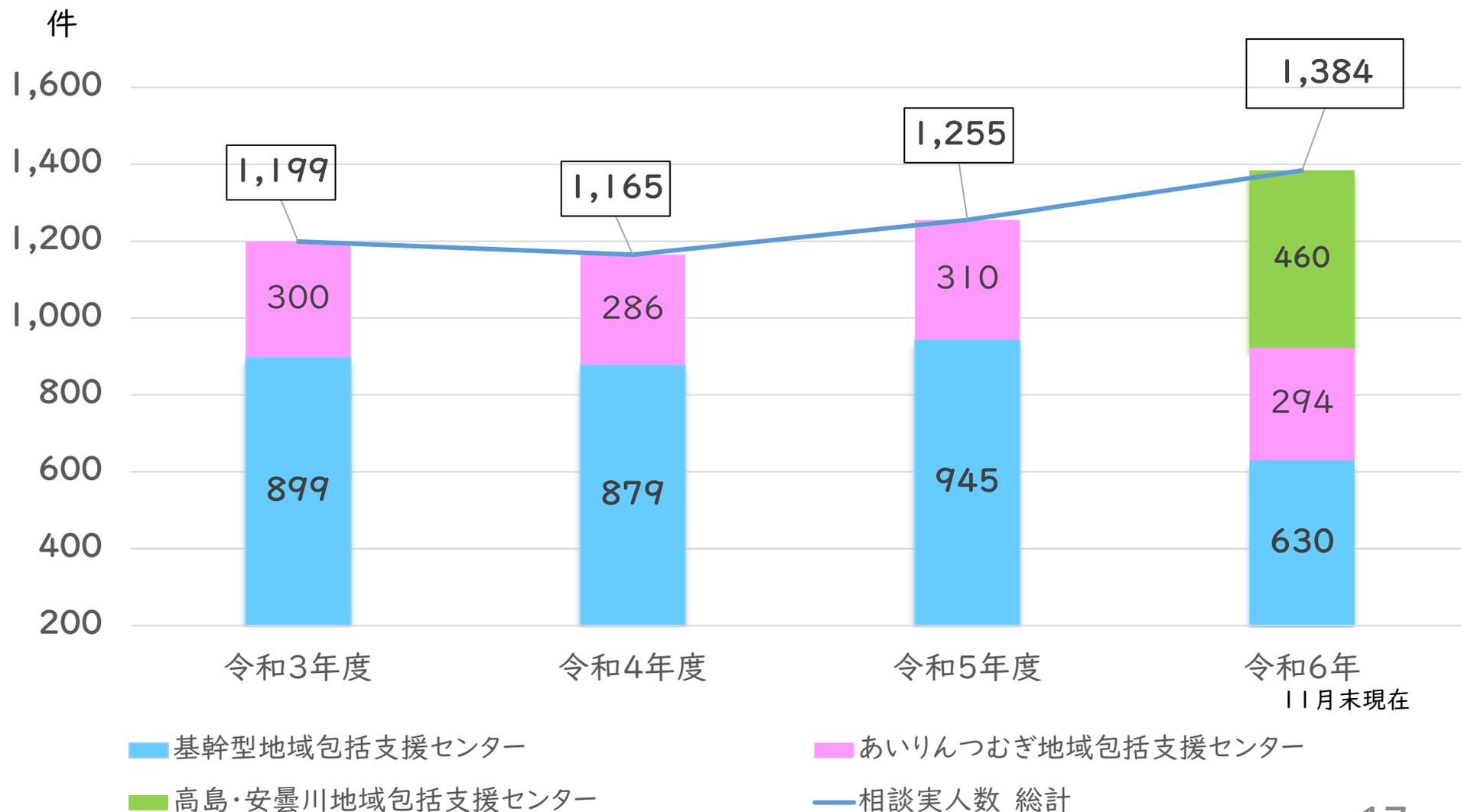
①相談件数（令和6年度11月末現在 市全体5,365件）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 (11月末)
基幹型地域 包括支援センター	相談延べ件数	4,268	4,435	3,979	3,126
	相談実人数	899	879	945	630
あいりんつおぎ 地域包括支援センター	相談延べ件数	642	678	822	868
	相談実人数	300	286	310	294
高島・安曇川 地域包括支援センター	相談延べ件数				1,371
	相談実人数				460
相談件数	総計	4,910	5,113	4,801	5,365

②地域包括支援センター別 相談件数推移



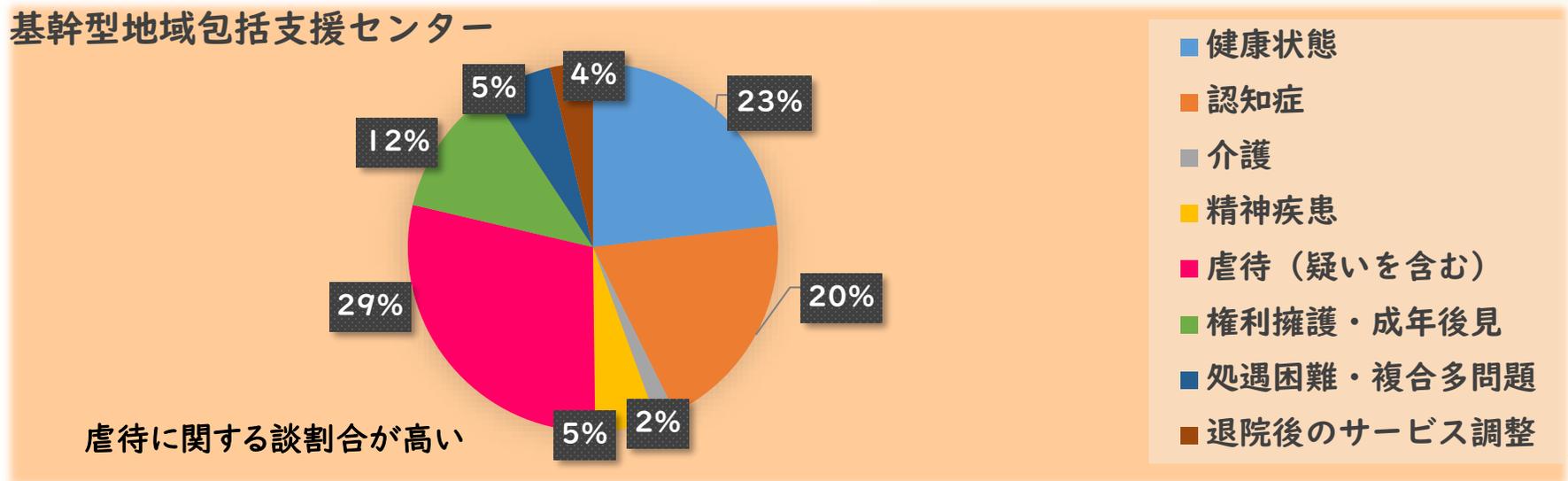
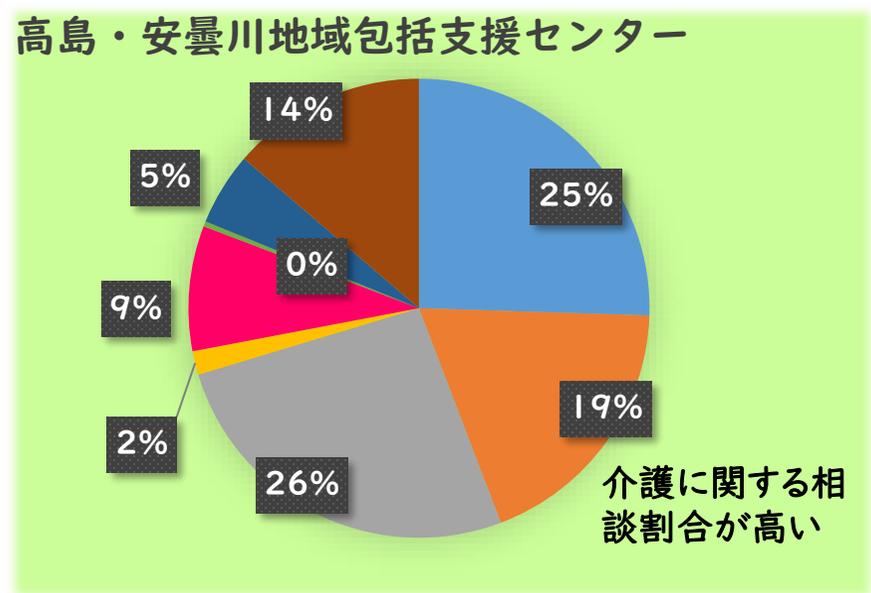
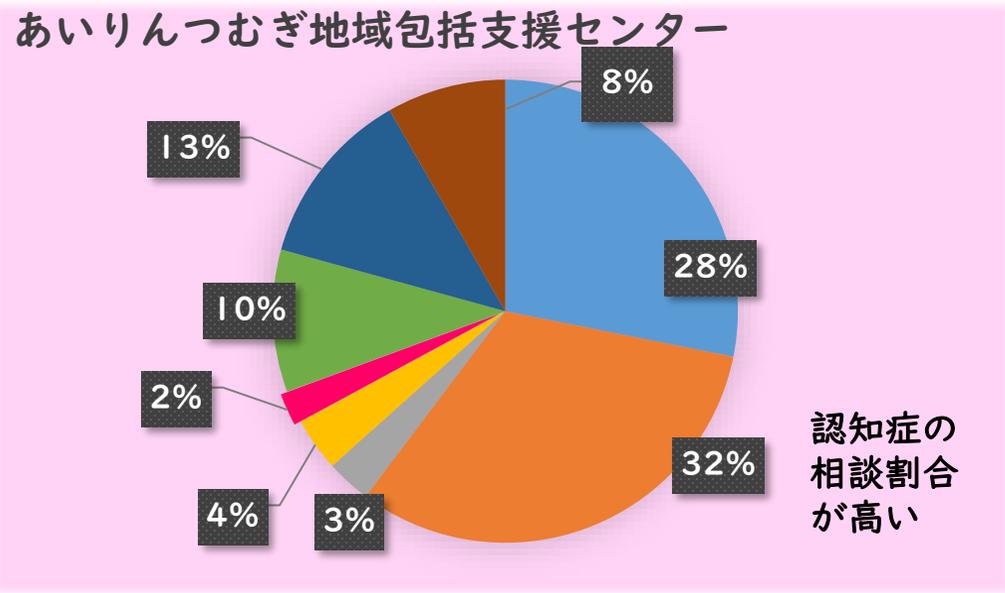
③地域包括支援センター別 相談実人数推移



④令和6年度 主な相談内容の内訳（11月末現在）

内容	基幹型地域包括 支援センター	あいりんつむぎ 地域包括支援センター	高島・安曇川 地域包括支援センター
健康状態	545	136	214
認知症	462	155	157
介護	41	15	219
精神疾患	127	18	14
虐待(疑いを含む)	681	11	74
権利擁護/成年後見	284	48	3
処遇困難/複合多問題	131	60	43
退院後のサービス調整	88	40	115
その他	767	385	532
合計	3,126	868	1,371

⑤令和6年度 主な相談内容の割合（11月末現在）



- 健康状態
- 認知症
- 介護
- 精神疾患
- 虐待（疑いを含む）
- 権利擁護・成年後見
- 処遇困難・複合多問題
- 退院後のサービス調整

⑥相談者別件数

【基幹型地域包括支援センター】

見守り協定事業所からの相談も増えています。

相談者別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
本人・家族・親族	1,877	1,848	1,859	1,418
市民	113	91	122	35
民生委員	96	123	106	50
介護支援専門員	677	622	465	329
*見守り協定事業所 (令和4年度から集計)		7	18	4
サービス提供事業所	59	213	296	256
関係機関 (警察・医療機関・後見人 地域包括支援センター)	1,240	1,115	926	272
行政関係各課	206	408	187	167

*見守り協定事業所: 令和5年度末で高島市内の77事業所が高島市と見守り協定を結んでいる。

*高島市見守りネットワーク事業: 「見守り協定事業所」が普段の仕事の中で、何か異変を感じたり気になることを市役所等の必要な機関に連絡し、連携して速やかに訪問などの対応ができるしくみを作っている。

⑥相談者別件数

【あいりんつむぎ地域包括支援センター】

見守り協定事業所・見守り協定を結んでいるサービス提供事業所からの相談も増えています。

相談者別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
本人・家族・親族	312	327	369	383
市民	15	12	15	5
民生委員	18	19	19	23
介護支援専門員	48	58	76	47
*見守り協定事業所（令和4年度から集計）		0	0	2
サービス提供事業所	16	14	16	12
関係機関（警察・医療機関・後見人・地域包括支援センター）	169	135	280	55
行政関係各課	64	113	47	22

⑥相談者別件数

【高島・安曇川地域包括支援センター】

相談者別	令和6年 11月末
本人・家族・親族	694
市民	16
民生委員	60
介護支援専門員	116
*見守り協定事業所（令和4年度から集計）	1
サービス提供事業所	51
関係機関（警察・医療機関・後見人・地域包括支援センター）	52
行政関係各課	39

本人・家族・親族だけではなく、民生委員や見守り協定事業所など、地域や関係機関からも相談が入っている。介護支援専門員からの相談も多い。

令和6年4月
開設

高島・安曇川 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、介護、医療、福祉の分野から高齢者の生活を支える総合相談窓口です。主任介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護師、看護師、社会福祉士などが連携し、さまざまな区から高齢者の支援を行います。



地域包括支援センター
相談窓口

TEL (0740)-36-0857
FAX (0740)-36-0858

〒520-1121 高島市勝野3060番地3

当センターは、高島市から委託を受け、特定非営利活動法人のよこしま地域包括ケア研究会が運営しています。



⑦相談対応方法内訳

【あいりんつむぎ地域包括支援センター】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
電話	348	408	454	461
窓口	69	94	99	91
訪問	225	175	269	235
メール	0	1	0	1

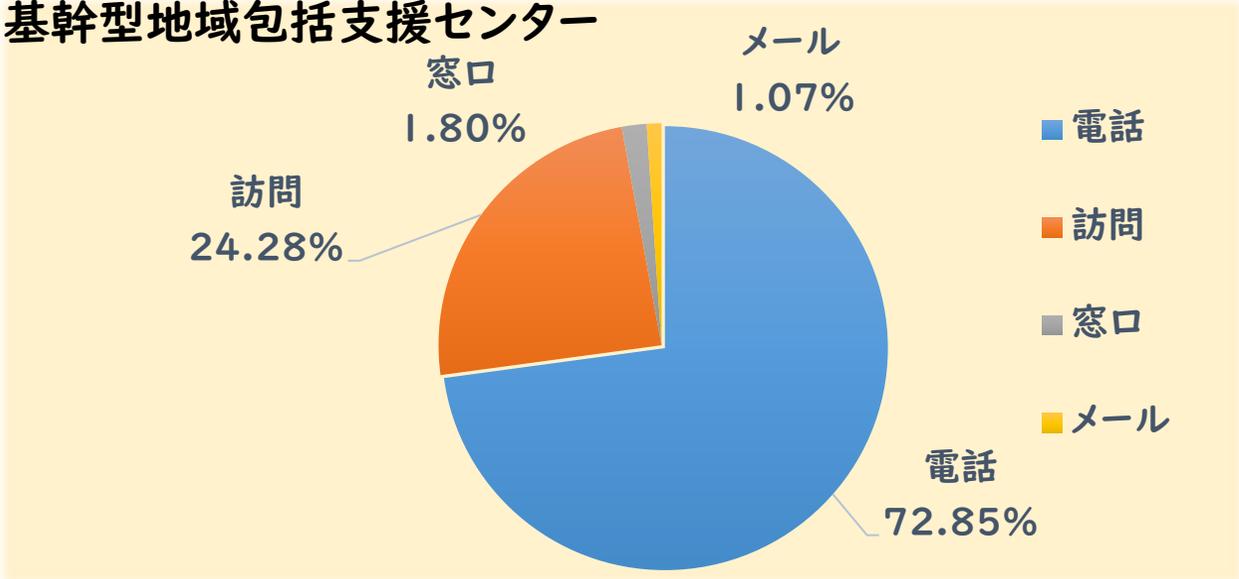
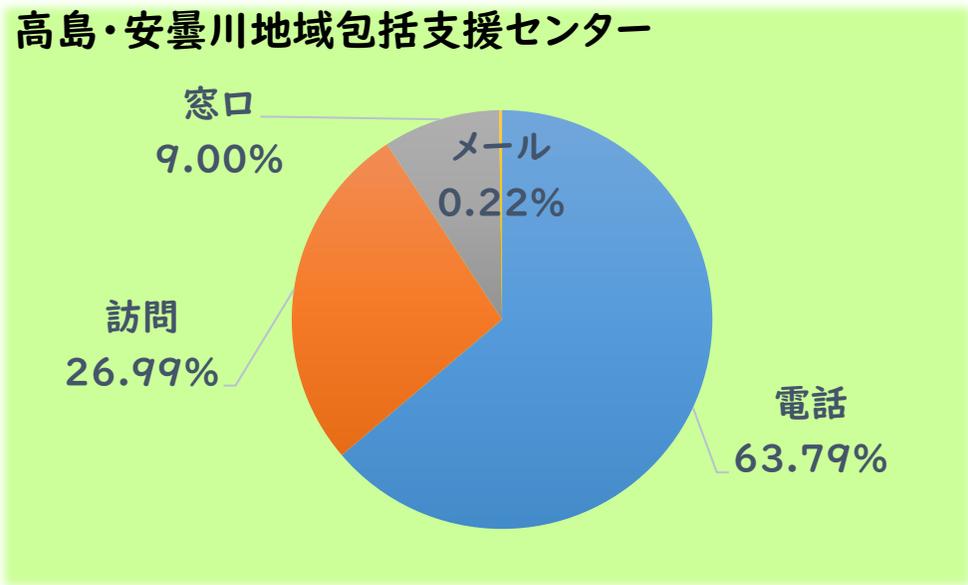
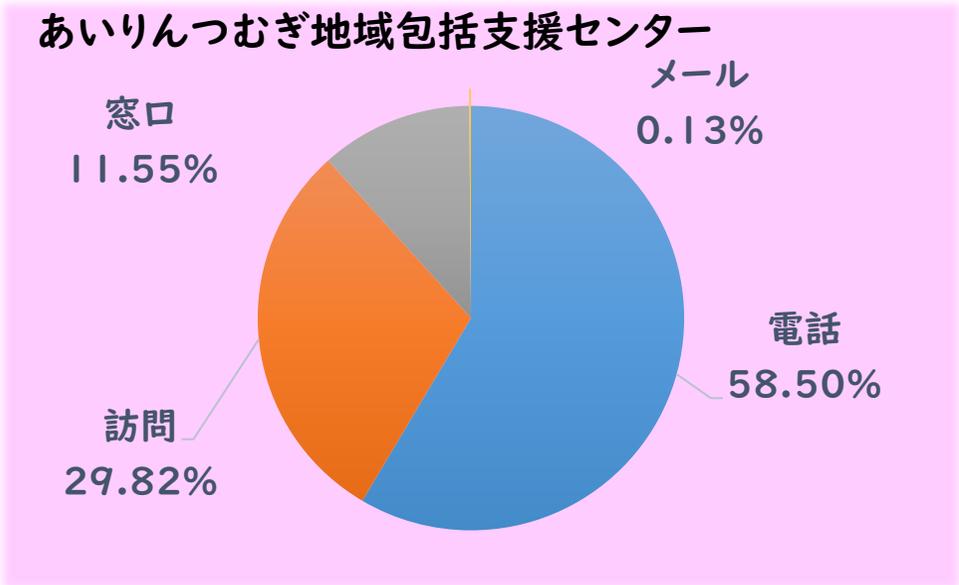
【高島・安曇川地域包括支援センター】

	令和6年 11月末
電話	851
窓口	120
訪問	360
メール	3

【基幹型地域包括支援センター】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
電話	2,636	2,678	2,553	1,983
窓口	637	707	551	449
訪問	974	1,206	810	611
メール	21	24	65	29

⑧地域包括支援センター別 相談対応方法内訳割合（令和6年度11月末現在）



どの地域包括支援センターも電話相談の割合が多い。電話で相談を受け付けたあと、訪問して相談対応していることが多い。

2) 権利擁護事業

高齢者虐待防止法に基づく対応状況

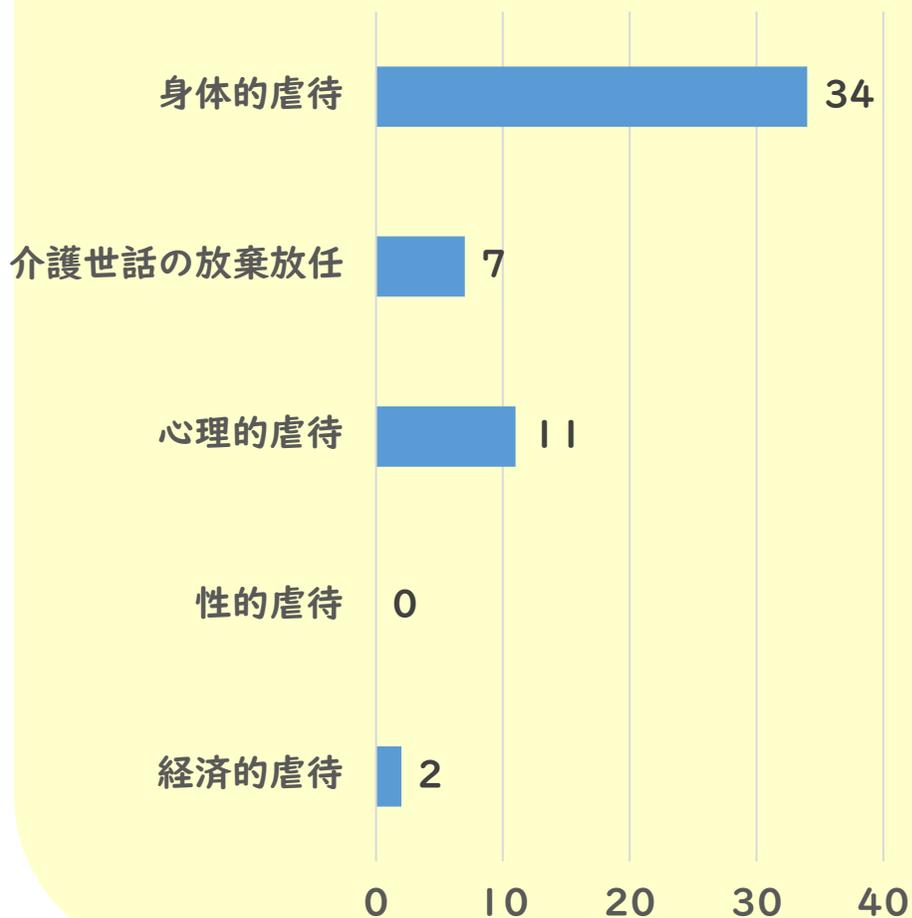
① 養護者による高齢者虐待

地域包括支援センターが高齢者虐待の相談・通報を受理した場合は、緊急判断会議を開催し、虐待が疑われる高齢者やその養護者に対して、速やかに状況確認を行い、介護支援専門員と共に介護サービスの調整や介護者の介護負担の軽減に努めている。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
通報相談件数	57	49	36	23
虐待の事実あり	21	18	23	10
虐待の事実なし	35	34	13	11
事実確認継続中	0	0	0	2

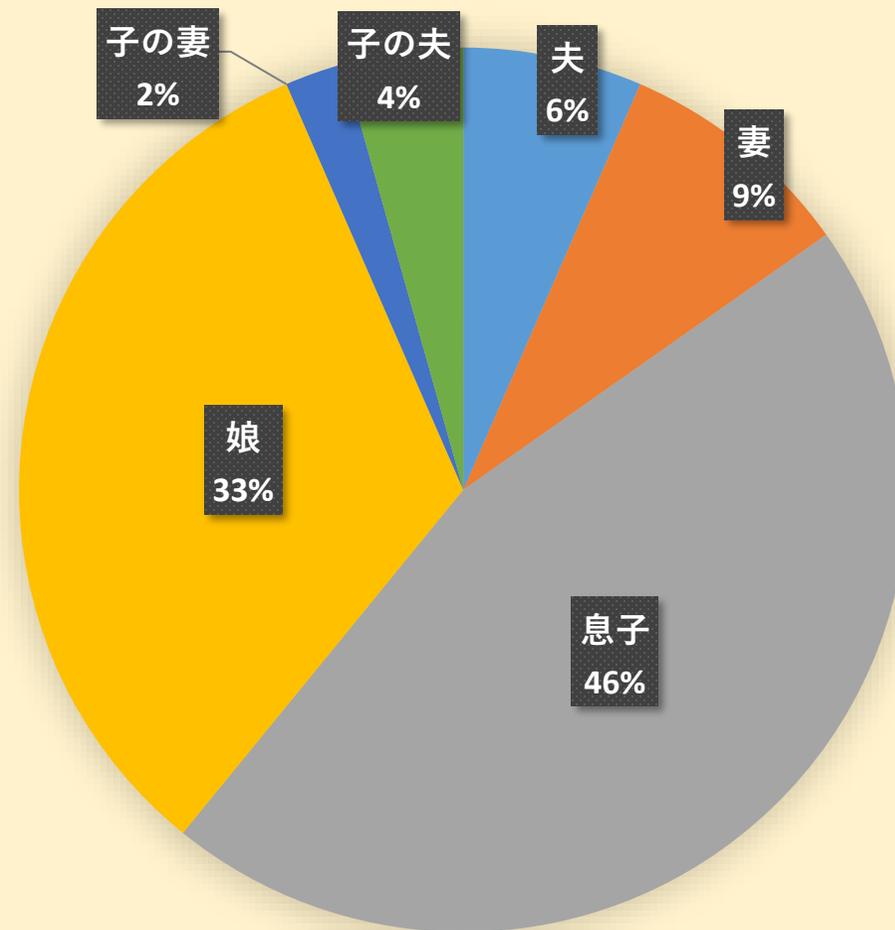
②現在対応中のケース46件について（重複あり）

1. 虐待種別（内訳）



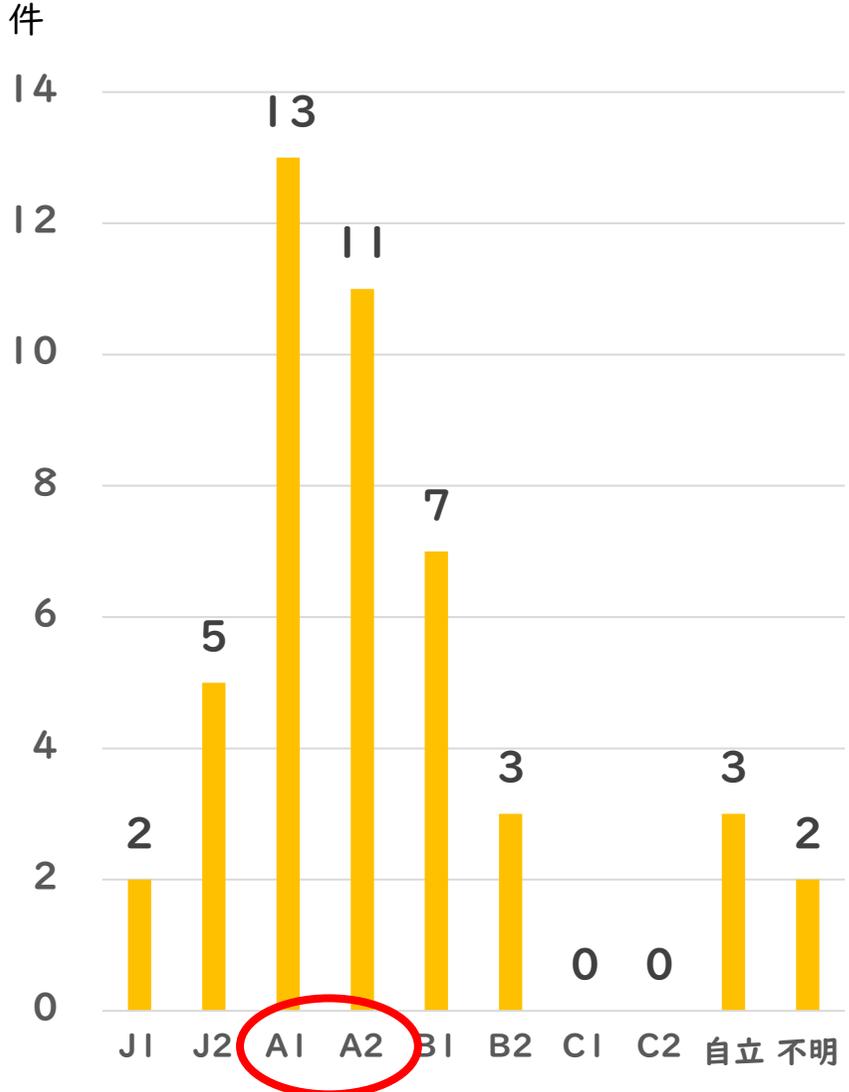
身体的虐待が一番多い。

2. 虐待者の続柄



息子からの虐待が一番多い。 26

③現在対応中の46ケースについて 被虐待者の日常生活自立度



自立度	判断基準	行動の例
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。	①交通機関を利用して外出できる。 ②隣近所へなら外出できる。
A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。	①介助により外出し日中はほとんどベッドから離れて生活できる。 ②外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。	①車イスに移り、食事・排泄はベッドから離れて行う。 ②介助により車イスに移る。
C	1日中ベッド上で過ごし、排泄や食事着替えにおいて介助を要する。	①自力で寝返りができる。 ②自力では寝返りができない。

比較的軽度の時に、虐待が発生しやすい。介護者が大変な時期と言える。

認知症（疑い）の方の一人歩きの現状

「認知症」になっても、安心して出かけられる体制の整備を実施。

高島警察署から、「保護した高齢者が認知症の疑いがあるので訪問してほしい」との情報提供も増えています。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末	【令和6年度】
事前登録者数	92人	100人	113人	82人	・防災無線を流す前に、警察との連携で発見することも増えています。
うち新規登録者数	24人	28人	26人	17人	
認知症高齢者位置探索システム (GPS)利用助成金交付	1件	1件	0件	1件	
市民へのメール配信整備 (登録者数)	4,015件	4,291件	4,531件	4,717件	・広域対応依頼を滋賀県を通じて、近畿の都道府県、滋賀県内の各市町に文書で依頼しました。
防災無線対応	9件	10件	2件	3件	
広域対応			3件	1件	
警察との連携	11件	22件	14件	15件	

「新しい認知症観」

令和6年1月1日施行「認知症基本法」に基づき「**認知症基本計画**」が策定された。基本計画は「新しい認知症観」を「(症状が出ても)できることや、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら自分らしく暮らし続けることができる」と定義した。

【認知症基本計画重点目標】

- ①国民一人一人が「新しい認知症観」を理解していること
- ②認知症の人の生活においてその意思等が尊重されていること
- ③認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができること
- ④国民が認知症に関する新たな知見や技術を活用できること



1) 認知症サポーター養成講座



① 認知症サポーター養成講座

今津・安曇川平和堂

マキノ南小学校

	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末	合計
開催回数	14回	18回	12回	445回
認知症 サポーター	359人	566人	237人	13,552人 *H17年から累積

②一般市民向け 認知症サポーター養成講座

受講の機会がない方を対象に、誰でも参加できる認知症サポーター養成講座を実施しました。



日時	場所	内容・講師	参加人数
令和6年 11月27日(水)	安曇川公民館 ふじのきホール	認知症サポーター養成講座 講師:高島市キャラバンメイト	13人

③認知症サポーター養成講座の内容

「認知症を正しく理解し支えよう」から、認知症の人は支えられるだけではないという、「**新しい認知症観**」を取り入れた認知症サポーター養成講座の内容に変更。

- 「認知症だから」の前提をとりはらう。
⇒そこにいるのは「認知症の人」ではなく、〇〇さんが認知症になっただけ
- 認知症により苦手になっていることの特徴を理解し、自然な気遣いを。
- 本人が得意なこと、すこし頑張ればできることは頼りにし力を発揮してもらう。
⇒「期待される存在はだれでもうれしい」
- 重要なことほど本人の考え、希望について話し合い決める
⇒相手の自尊心や意思をないがしろにしては逆効果

認知症とともに生きる希望宣言

ひと足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ

1. 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。

2) 認知症サポーターステップアップ講座



日時	内容・講師	参加人数
<p>令和6年 12月4日(水)</p>	<p>「認知症についての理解を深めよう」 講師:医療法人かおり会 本多医院 本多朋仁医師</p> <p>予防についても話が聞けてよくわかりました。</p> <p>認知症の種類や症状などよくわかりました。</p> <p>今まで逆の態度をとっていたなど反省しました。</p>	<p>20人</p> 

<p>令和6年 12月9日(月)</p>	<p>「認知症の方に寄り添える地域づくりについて考える」 講師:NPO法人LSH認知症施策推進室 中村悟志氏</p> <p>若い方と暮らしていない方が多くなったので、地域でサポートが必要だと思いました。</p> <p>見守り活動をしています。日頃からのつながり、相談することは恥ずかしいことではないという事を伝えていきます。</p> <p>中村氏:大津市チームオレンジの立ち上げ、認知症カフェの運営をされています。</p> <p>「認知症の人のために何かしようとするのではなく、今暮らしている地域で、今一緒に過ごしている人と何をしていくのか、何を続けて行くのかを考えることが大切です。」</p>	<p>21人</p> 
--------------------------	---	--

3) 高島市 チームオレンジ



認知症サポーターがチームを組み、認知症の人やその家族の見守りや支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援する団体をチームオレンジと認定する。

【対象となる団体】

- 市内に活動拠点があること
- 認知症サポーターステップアップ講座を修了または修了予定のサポーターがメンバーにおられること
- 認知症の方も参加できるように努めていること

【対象となる活動例】

- 認知症カフェやサロン等、立ち寄れる場の提供
- 認知症の人の趣味活動や社会参加等の支援
- 見守り活動、話し相手、ゴミ出し等の支援 など



広報たかしま 11月号で「チームオレンジ」を募集しました



高年齢者支援課 (高島市地域包括支援センター) ☎ (25) 8150 (25) 8054

あんしん♡元気生活

「チームオレンジ」として活動できる団体を募集します！

「チームオレンジ」とは、認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようサポートする団体の活動を進める団体です。

認知症の方やその家族の困りごとを早期から継続して支援できるように、チームオレンジとして活動できる団体を募集します。

▼対象となる団体

- 高島市に活動拠点があること
- チームオレンジのメンバーの中に、認知症サポーターステップアップ講座を修了および修了予定の方がいること
- 認知症の方も参加できるように努めること

▼対象となる活動の例

- 認知症カフェやサロンなどの居場所の支援
- 認知症の方の趣味活動や社会参加などの支援
- 応募を希望する団体は高齢者支援課までご連絡ください。

認定されるとステッカーがもらえるよ！

認知症サポーターキャラバン マスコット「ロバ隊長」



舞成講座を受講した方は次へステップアップ

まずはここから

認知症サポーターステップアップ講座を開催します！

▼対象 認知症サポーター養成講座を受講したことがある方

▼場所 安曇川公民館

【講座①】

▼日時 12月4日(水) 14時～15時30分

▼内容 認知症についての理解を深めよう

▼講師 医療法人かおり会 本多 朋仁 医師

【講座②】

▼日時 12月9日(月) 14時～15時30分

▼内容 認知症の方に寄り添える地域づくりについて考える

▼講師 NPO法人LSH認知症施策推進室 中村 悟志さん

認知症サポーター養成講座を開催します！

認知症サポーターは、認知症のことを正しく理解して、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者です。

認知症サポーター養成講座を受けて、あなたも認知症サポーターになりませんか？

▼日時 11月27日(水) 14時～15時30分

▼場所 安曇川公民館

▼対象 市内在住で認知症サポーターとして活動しようと考えている方

▼定員 20人

▼内容 認知症の症状や認知症の方への接し方など

▼講師 キャラバンメイト

▼申込締切 11月22日(金)

認知症サポーターは認知症の人やその家族を支え見守る応援者です。

高島市チームオレンジ

高島市 チームオレンジ 活動紹介



浜分(今津)

- ・活動内容: サロン、あしたの体操、見守り活動
- ・開催回数: サロン(月1回)
あしたの体操(月2回)
見守り活動(月1回)
- ・スタッフ: 5名
- ・特徴: デイサービスなどの介護保険サービスを利用後も、このサロンを楽しみにしておられる方がいる。



SUZAKI CAFE(今津)

- ・活動内容: カフェ
- ・開催回数: カフェ(週2回)
- ・スタッフ: 1名
- ・特徴: 毎週楽しみに参加されている認知症の方もいて、本人や家族の居場所になっている。



藤江福祉推進委員会(安曇川)

- ・活動内容・開催回数
サロン(月2回)
あしたの体操(週1回)
見守り活動
- ・スタッフ:30人
- ・特徴:認知症の方もサロンに参加しやすいように当日に声掛けをしている。また、集まる回数を多くすることにより認知症の予防につながるようにしている。

サロンわつなぎ(高島)

- ・活動内容・開催回数
サロン(月1回)
- ・スタッフ:2名
- ・特徴:認知症の方の立ち寄れるカフェとして実施。子どもたちなどとの交流も検討している。

はぴねすカフェ(マキノ)

- ・活動内容・開催回数
カフェ(月1回)
- ・スタッフ:事業所職員 2名
ボランティア 4名
- ・特徴:小規模多機能型居宅介護事業所「はぴねすマキノ」で実施。認知症の方や家族の方が、マキノ病院受診時の待ち時間などに気軽に立ち寄れるようにしている。



指定介護予防支援事業所運営事業

1) 給付管理数の推移

①介護予防ケアマネジメント

介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス・訪問型サービス）のみを利用している方に対して実施。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年 11月末
基幹型地域包括 支援センター	直営	1,234	1,074	1,142	339
	委託	258	240	217	86
	合計	1,492	1,314	1,359	425
あいりんつむぎ地域 包括支援センター	直営	529	441	313	221
	委託	189	143	143	116
	合計	734	601	464	337
高島・安曇川地域包 括支援センター	直営				564
	委託				233
	合計				797

②介護予防支援

介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス・訪問型サービス）以外のサービス（福祉用具のレンタル・訪問看護など）を利用している、または併用している方に実施。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年11月末
基幹型 地域包括支援センター	直営	2,695	2,837	2,888	1,591
	委託	1,191	1,373	1,402	919
	合計	3,886	4,210	4,290	2,510
あいりんつむぎ 地域包括支援センター	直営	1,199	1,496	1,457	952
	委託	687	714	897	183
	合計	1,886	2,210	2,354	1,135
高島・安曇川 地域包括支援センター	直営				979
	委託				503
	合計				1,482

指定介護予防支援事業所運営事業

2) 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務契約 事業所一覧 (令和6年11月末現在)

①高島市内

	設置者 (法人名)	居宅介護支援 事業所名	委託件数		
			基幹型地域包括 支援センター	あいりんつむぎ 地域包括支援センター	高島・安曇川地域包 括支援センター
1	社会福祉法人みのり会	新旭介護サービスセンター	8	4	8
2	社会福祉法人ゆたか会	★こころいちばん 居宅介護支援センター	0	7	3
3	特定非営利法人 じゃがいもの家	じゃがいもの家	0	7	0
4	社会福祉法人 高島市社会福祉協議会	★きらり今津北	2	6	0
5	社会福祉法人 高島市社会福祉協議会	★きらり高島	0	0	14

2) 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務契約 事業所一覧 (令和6年11月末現在)

①高島市内

設置者 (法人名)	居宅介護支援 事業所名	委託件数			
		基幹型地域包括 支援センター	あいりんつむぎ 地域包括支援センター	高島・安曇川地域包 括支援センター	
6	医療法人かおり会	ケアプラさくら	72	2	48
7	特定非営利法人 元気な仲間	元気な仲間	5	4	7
8	一般財団法人近江愛隣園	★あいりん居宅 介護支援事業所	1	2	1
9	社会福祉法人光養会	★ふじの里ケアプランセンター	0	1	3
10	株式会社Logic	ケアプランセンターひより	16	3	4
合計			104	34	88

*令和6年4月1日付けで上記事業所と介護予防支援業務委託契約を締結した。

★の居宅介護支援事業所について、令和6年度から高島市で指定を受け、介護予防ケアプラン作成と直接請求ができるようになりました。

②高島市外

	設置者 (法人名)	居宅介護支援 事業所名	所在地	委託件数		
				基幹型地域包括 支援センター	あいりんつむぎ地域 包括支援センター	高島・安曇川 地域包括支援センター
1	友人会社 ケアサポートリブ	ケアサポートリブ	大津市		1	
2	医療法人 清仁会	水無瀬ケアプランセンター	島本町 (大阪)		1	
3	医療法人 良善会	介護情報センターヴィーナ ス24	大津市	1		
合計				1	2	0

③指定介護予防支援および介護予防ケアマネジメント業務受託申出書の概要

指定介護予防支援業務受託申出日			令和6年10月1日		
事業所	フリガナ	イリョウハウジン リョウゼンカイキョタクカイゴシエンジギョウショカイゴジョウハウセンター ヴィーナス24			
	名称	医療法人 良善会居宅介護支援事業所介護情報センター ヴィーナス24			
	所在地	滋賀県大津市際川3丁目35-1			
代表者	フリガナ	ヤナギバシ ケン	管理者	フリガナ	アサダ ユリコ
	氏名	柳橋 健		氏名	浅田 由利子
指定居宅介護支援事業者の指定年月日			平成18年12月1日		
従業者		介護支援専門員		その他	
		専従	兼務	専従	兼務
	常勤	3人	1人	0人	0人
	非常勤	0人	0人	0人	0人

※令和6年10月1日付で上記事業所と指定介護予防支援業務委託契約を締結した。